

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	季節の食材を取り入れたり、誕生日には希望のメニューを提供するなど、食事を楽しむ工夫を行えているが、献立の掲示をする事で、より食に対し感心や楽しみが持てる環境作りが望まれる。	入居者様が今以上に食に感心を持ち、食事を楽しむ事が出来る。	1週間ごとの献立予定表を掲示し、普段の会話の話題として活用する事で、季節の食材への感心と調理へのイメージ、意欲の向上を図り、さらに食事が日々の楽しみとなるようにしたい。	1 カ月
2	2	地域との繋がりの為にいろいろと工夫はしているが、地域性もあり地域の一員として、馴染みの関係にはなれていない。	地域住民に対し、グループホームみどりについて理解して頂き、馴染みの関係を作る。	2ヶ月に1度発行しているみどり新聞を地域に配布する。また、喫茶や夏祭り等の行事に近隣の方を招いているが、今後は町と協力し、町全体に情報発信していく。	12 カ月
3	35	定期的な避難訓練は行っており、消防や自治会からの意見も取り入れているが、近隣は高齢化が進み、防災組織が整備されていない。	町、地域住民との協力体制の構築、実践的訓練の実施。	県や町の方針に沿って、地域を含めたマニュアル作成、実践的な訓練を行いたい。	12 カ月
4					カ月
5					カ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)